

FAIRPLAY NEWS

フェアプレイで日本を元気に
あくしゅ、あいさつ、ありがとう



何にでも敬意をもつ

今回は、フェアプレイ大賞に選ばれた山本幸輝くん(現中学1年生)の作品を漫画にしました。

立合い
僕は相撲が好きでよくテレビで観ています
大相撲にはスタートを決める合図がなく力士同士が呼吸を合わせて取組を始めます
ある取組を観ていたときのこと
立合いが合わなければ審判団にお詫びの礼をしてやり直しになります

立合い
立合いが合わなかった時のお詫びの礼を
琴勇輝関はしっかりするんだ
なんか気持ちいいなあ
よしっ
僕も見習おう!

審判団
学校の歯科検診で...
それ以来、僕は感謝やお詫びの気持ちが伝わるように、しっかり礼をすることを心がけるようにしています
これが琴勇輝関から学んだ僕にとってのフェアプレイです
元アスリートの審査員から
この作品によって私たちアスリートはひとつひとつのしくぎまで見られていることを改めて気付かされ、身の引き締まる思いがしました
そして作者がいいなと思ったことを自らも実践しようとする姿にとっても感心しました

大山加奈さん
2016年6月、山本くんの作文を読んだ
琴勇輝関の好意により二人の対面が実現した
国技として礼儀を重んじているので、そういったところを見てもらいとてもうれしいですね
横綱になるまでがんばってください

有森裕子さん



オリンピックへの道 フェンシング

み の べ か す や す せん しゅ
見延和靖選手

仲間たちの想いも胸に、 オリンピックでメダルに挑む。

高校からフェンシングを始め、そのスピード感やかきひきの面白さに、夢中になって練習を重ねてきた見延選手。この4年間は、オリンピックに出ることだけを追求し、さらに厳しい練習に取り組みできました。しかし、一番の目標だった団体戦での出場は叶いませんでした。気力を失いかけていたとき、「個人戦に出場してメダルをとることが、仲間のためにも、日本のフェンシングのためにもなるから頑張れ」と、先輩からの言葉。その言葉が力となり、個人戦に集中

することができ、リオへの切符を勝ち取ったのです。「オリンピックには、メダルを取りに行きます」。これまでも有言実行してきた見延選手が、堂々と宣言してくれました。

コーチからのアドバイスを聞く



★ **あなたが見た、聞いた、実践した「フェアプレイ」を教えてください。**

★ **日本フェアプレイ大賞 2017**

★ **2016年7月10日よりエピソード募集開始!**
[募集期間] 2016年7月10日(日)~2017年1月31日(火)

★ **もうすぐ夏休み!**
スポーツやレジャーなど、いろんな体験をするなかで、フェアプレイをしたり、見たりすることもきっとあるはず。

★ **みんなも、フェアプレイを行ったり、見たりしたら、日本フェアプレイ大賞2017に応募してね!**

★ **〈先生へ〉**
応募方法などの詳細は「フェアプレイで日本を元気にキャンペーン」ホームページで公開いたしますので、ご覧いただけますようお願いいたします。

